

2019年1月18日

各報道機関 御中

山梨大学医学部附属病院長
武田 正之

手術支援ロボット「ダヴィンチ®」を用いた内視鏡手術の現状 肺がん手術の開始・泌尿器科手術 300 件突破

世界でも急速に広まっているダヴィンチ手術（内視鏡手術支援ロボットを用いた手術）ですが、山梨大学医学部附属病院では、2013年3月に手術支援ロボット「ダヴィンチ Si®」（写真）を導入し、同年6月には山梨県内で第1例目となるロボット支援腹腔鏡下前立腺がん根治術を実施して以来、泌尿器科のみで手術件数が300例を突破しました。また、昨年7月には膀胱がんに対するロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を、11月には肺がんに対するロボット支援胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術を開始しました（いずれも山梨県で第1例目）。

ダヴィンチ手術システムを用いたロボット支援内視鏡手術では、開放性手術と比較して患者さんの体への負担が少ないだけでなく、術者の手指と同様に自在に曲がる多機能手術用鉗子、高解像度の3D画像や内視鏡画像の手ぶれを除去する機能などによって、体内深部での難しい剥離や細かい縫合などの精度の高い手術操作が可能となっています。現在、本院では、前立腺悪性腫瘍手術、腎悪性腫瘍手術、膀胱悪性腫瘍手術、肺悪性腫瘍手術、胃悪性腫瘍手術、直腸悪性腫瘍手術、子宮悪性腫瘍手術などに適用しています。ダヴィンチ手術は地域における高度医療へのさまざまなニーズに対応する選択肢のひとつとして、県内医療機関並びに患者さまに貢献できる治療と考えております。

つきましては、本院における手術支援ロボット「ダヴィンチ®」を用いた内視鏡手術の現状を地域の方々に紹介していただきたく、よろしくご願ひ致します。ダヴィンチ手術（内視鏡手術支援ロボットを用いた手術）が健康保険適用ではない手術術式に関しましては、腹腔鏡、胸腔鏡などを用いた最小侵襲手術を行い、患者さんの入院期間の短縮と早期の社会復帰を目指しております。

なお、本件に関する問合せ・取材の申込みにつきましては、以下担当までご連絡願ひます。

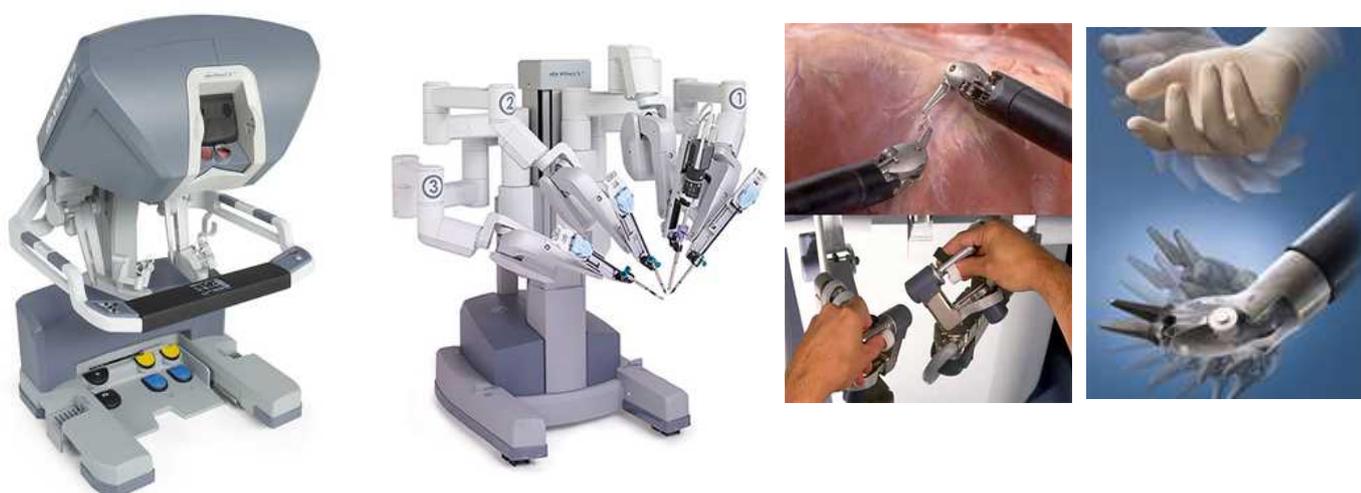
(担当)

国立大学法人山梨大学 医学域病院経営企画課
TEL:055-273-9072 FAX:055-273-9243
E-mail masanao@yamanashi.ac.jp

山梨大学医学部附属病院における手術支援ロボット「ダヴィンチ®」を用いた内視鏡手術の現状：肺がん手術の開始と泌尿器科手術 300 件突破

2019 年 1 月

山梨大学医学部附属病院長 武田正之



手術支援ロボット ダヴィンチ Si® (Intuitive 社製)

当院では 2013 年 3 月に手術支援ロボット「ダヴィンチ Si®」(写真)を導入し、2013 年 6 月に山梨県内で第 1 例となるロボット支援腹腔鏡下前立腺がん根治術を、2016 年 9 月には腎がんに対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を開始しました。すでに前立腺がん手術は 220 例以上、腎がん手術は 60 例以上の患者さんに安全に実施し、良好な治療効果を挙げています。2018 年 7 月からロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を開始し、12 月には泌尿器科のみで手術件数が 300 例を突破しました。また 11 月 28 日には第 2 外科(中島博之教授)で肺がんに対する胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術が開始されました。

その他の領域では、胃がん、直腸がん(第 1 外科 市川大輔教授)、子宮がん(産婦人科 平田修司教授)でもロボット支援内視鏡手術を実施しており、患者様の術後成績と QOL の更なる向上を目指してまいります。

2018年度から健康保険適用となった12術式と担当診療科・主任教授

担当診療科（主任教授名）	術式
第2外科（中島博之医師）	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
第2外科（中島博之医師）	胸腔鏡下縦隔良性腫瘍手術
第2外科（中島博之医師）	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 （肺葉切除または1肺葉を超えるもの）
第2外科（中島博之医師）	胸腔鏡下弁形成術
第1外科（市川大輔医師）	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術
第1外科（市川大輔医師）	腹腔鏡下胃切除術
第1外科（市川大輔医師）	腹腔鏡下噴門側胃切除術
第1外科（市川大輔医師）	腹腔鏡下胃全摘除術
第1外科（市川大輔医師）	腹腔鏡下直腸切除・切断術
泌尿器科（武田正之医師）	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
産婦人科（平田修司医師）	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
産婦人科（平田修司医師）	腹腔鏡下腔式子宮全摘除術（良性子宮疾患）